

ユーシン

景況レポート

Number.100
(2019.4~6月期)

結城信用金庫

■ このレポートは、当金庫のお客様231企業(回答企業224企業)について、景気の現状と今後の見通しを調査したものです。

調査結果のあらまし

業況は、卸売業・小売業・不動産業で改善

4月~6月期の概況

茨城県西地域の中小企業の業況判断D.I(「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を差し引いた指標)は△5.8と、2019年1~3月期(前期)の調査より0.1ポイント低下し、景況感はわずかに悪化しました。

業種別では、製造業で1.4ポイント、サービス業で6.5ポイント、建設業で10.0ポイント低下しましたが、卸売業で8.4ポイント、小売業で7.3ポイント、不動産業で5.5ポイント改善しました。

項目別では、売上判断D.Iが△0.4と前期比6.2ポイント、収益判断D.Iにおいても2.1ポイントともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは1.3、前期比5.2ポイント、同収益判断D.Iでも0.9、同8.8ポイントともに改善しました。

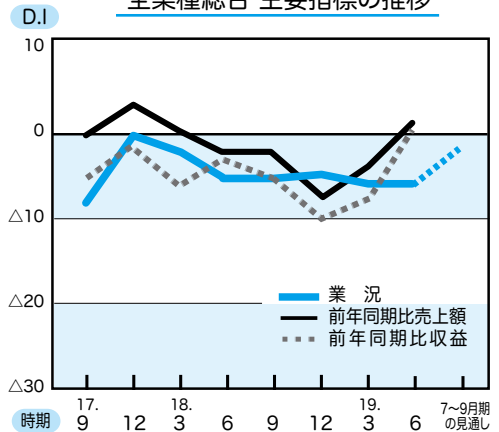
雇用面では、人手過不足D.Iが△12.1と前期比1.9ポイント改善し、人手不足感がやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iにおいては1.7ポイント減少しました。

借入金の動きでは、借入したが1.9ポイント上昇し、借入難易度では、特に大きな変化は見られませんでした。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が30.8%、「売上の停滞・減少」が27.7%、「人手不足」が18.8%と上位に挙げられました。

また、特別調査の「中小企業における人手不足の状況と働き方改革への対応」について、顕在化しつつある人手不足の状況をどのように認識していますかの問に対し、「適切」が64.7%と最も多く、次いで、「人手不足」が33.5%という結果となりました。(詳しくは8~9ページに掲載しています)

全業種総合 主要指標の推移



7月~9月期の見通し

業況の見通し判断D.Iは△1.8、当期実績比4.0ポイント改善の見込

来期は、製造業・卸売業・サービス業で改善を見込んでいます。項目別では、売上判断D.Iが当期実績比4.4ポイント、収益判断D.Iでも同6.7ポイントの改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iにおいては横這いが見込まれます。雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比0.4ポイント低下、また、残業時間D.Iは2.2ポイントの増加見通しとなっています。当面の重点施策でも、「経費の節減」が47.8%、「販路を広げる」が37.1%、「人材を確保する」が19.6%と上位になりました。

景況天気図

【この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました】

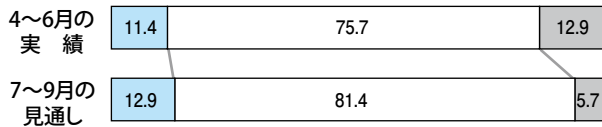
業種名	時期	31年1~3月	31年4~元年6月	元年7~9月見通し	概	要
総合						業況判断D.Iは、0.1ポイント低下し△5.8。来期は、4.0ポイント改善し△1.8の見通し。
製造業						業況判断D.Iは、1.4ポイント低下し△1.4。来期は、8.5ポイント改善し7.1の見通し。
卸売業						業況判断D.Iは、8.4ポイント改善し△21.9。来期は、15.6ポイント改善し△6.3の見通し。
小売業						業況判断D.Iは、7.3ポイント改善し△19.5。来期は、7.3ポイント低下し△26.8の見通し。
サービス業						業況判断D.Iは、6.5ポイント低下し△6.5。来期は、9.7ポイント改善し3.2の見通し。
建設業						業況判断D.Iは、10.0ポイント低下し9.4。来期は、変わりなく9.4の見通し。
不動産業						業況判断D.Iは、5.5ポイント改善し11.1。来期は、11.1ポイント低下し0.0の見通し。

好調 ← → 低調 / 業況改善 業況悪化 業況変化なし

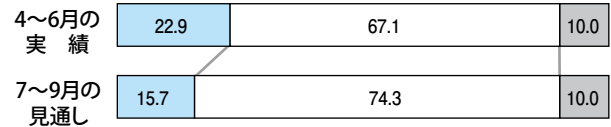
■ 製造業

回答企業数70企業(回答率97.2%)

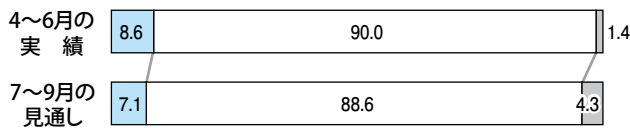
【業況】



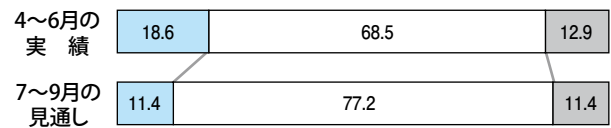
【売上額】



【原材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加(良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

4月～6月期の概況

業況判断D.Iは△1.4、前期比1.4ポイントの低下

項目別では、売上額判断D.Iが12.9と前期比8.7ポイント、収益判断D.Iでも5.7と同5.7ポイントともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは12.9、前期比5.9ポイント、同収益判断D.Iは5.7、同4.3ポイントともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△12.9と前期比1.2ポイント改善し、人手不足感がやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは5.7と前期比△4.2ポイント減少しました。

借入金の動きでは、「借入した」が25.7%（前期16.9%）、「予定あり」が20.0%（前期22.5%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は10.0%（前期15.5%）となりました。

経営上の問題点では、「人手不足」が30.0%、「同業者間の競争激化」が22.9%、「原材料高」が21.4%と上位に挙げられました。

7月～9月期の見通し

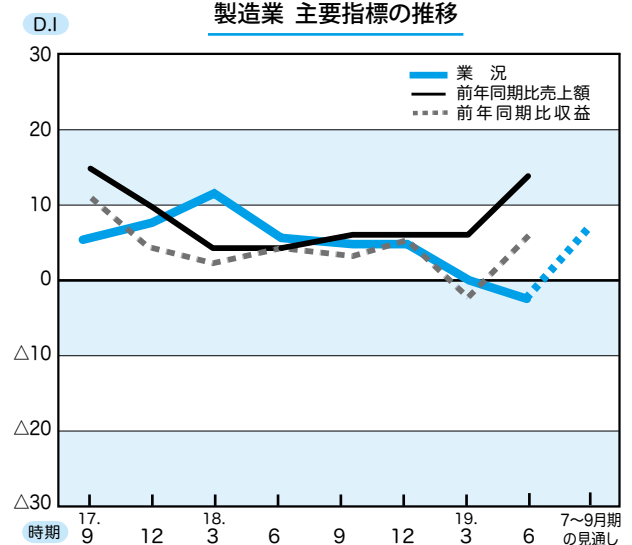
業況の見通し判断D.Iは7.1、当期実績比8.5ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比△7.2ポイント、収益判断D.Iでも同△5.7ポイントともに低下を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比1.4ポイント改善を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比1.5ポイント改善、残業時間D.Iは同4.3ポイント減少の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が44.3%、「経費の節減」が40.0%、「人材を確保する」が28.6%と上位に挙げられました。

製造業 主要指標の推移



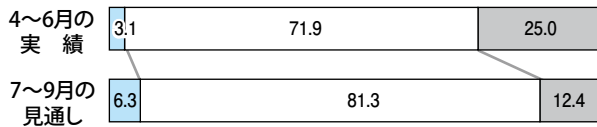
調査員のコメントから

時期によって受注の波があることから、正社員数は現状を維持し、契約社員の増減にて受注に対応する方針である。

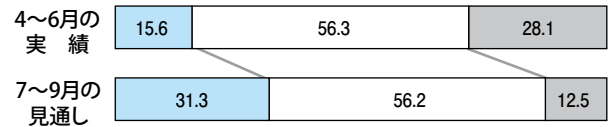
■ 卸 売 業

回答企業数32企業(回答率97.0%)

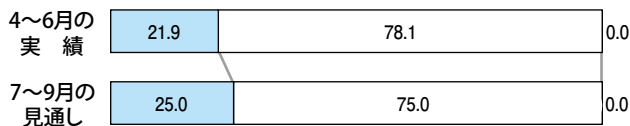
【業 況】



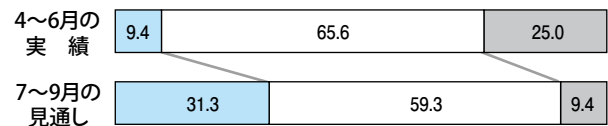
【売上額】



【仕入価格】



【収 益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

4月～6月期の概況

業況判断D.Iは△21.9、前期比8.4ポイントの改善

項目別では、売上額判断D.Iが△12.5と前期比17.8ポイント、収益判断D.Iでも△15.6と同5.6ポイントともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは△3.1、前期比12.1ポイント、同収益判断D.Iは△6.3、同17.9ポイントともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△3.1と前期比12.1ポイント改善し、人手不足感がやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは3.1と同9.2ポイント増加しました。

借入金の動きでは、「借入した」が18.8%（前期27.3%）、「予定あり」が6.3%（同15.2%）を示しています。また、設備投資を「実施した」と回答した企業は9.4%（前期9.1%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」が34.4%、「同業者間の競争激化」が28.1%、「取引先の減少」・「天候の不順」がそれぞれ18.8%と上位に挙げられました。

7月～9月期の見通し

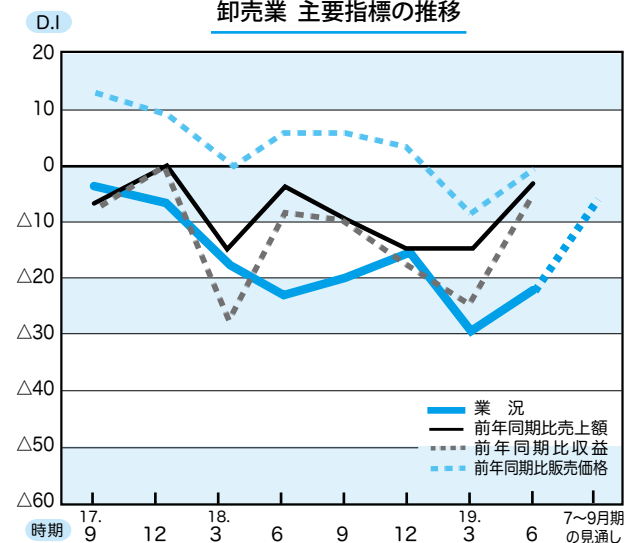
業績の見通し判断D.Iは△6.3と当期実績比15.6ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比31.3ポイント、収益判断D.Iでも37.5ポイントともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比3.1ポイントの低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iは当期実績比横這い、残業時間判断D.Iは6.3ポイント増加見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が71.9%、「経費の節減」が56.3%、「情報力の強化」が18.8%と上位に挙げられました。

卸売業 主要指標の推移



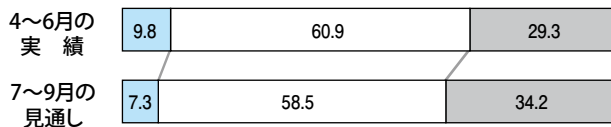
調査員のコメントから

廃業による取引先（小売店）等の減少が売上に影響。また、貿易摩擦等による経済への影響も気掛りである。

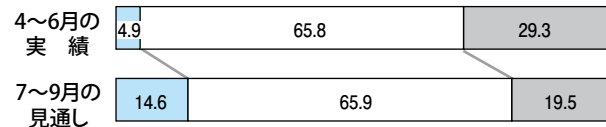
■ 小 売 業

回答企業数41企業(回答率100%)

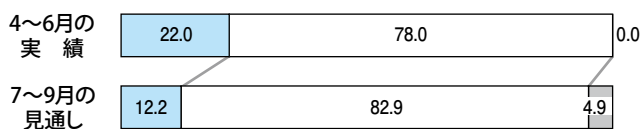
【業 況】



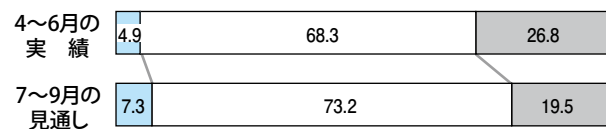
【売上額】



【仕入価格】



【収 益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

4月～6月期の概況

業況判断D.Iは△19.5、前期比7.3ポイントの改善

項目別では、売上額判断D.Iが△24.4と前期比9.8ポイント、収益判断D.Iでも△22.0と同4.9ポイントともに低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは△22.0、前期比2.4ポイント低下、同収益判断D.Iは△17.1、同9.7ポイント改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△7.3と前期比2.4ポイント低下しました。また、前期比残業時間D.Iは9.8ポイント減少しました。

借入金の動きでは、「借入した」が24.4%（前期22.0%）、「予定あり」が17.1%（前期19.5%）を示しています。また、設備投資を実施したと回答した企業は0.0%（前期9.8%）となりました。

経営上の問題点では、「売上の停滞・減少」・「同業者間の競争激化」・「大型店との競争激化」がそれぞれ36.6%と上位に挙げられました。

7月～9月期の見通し

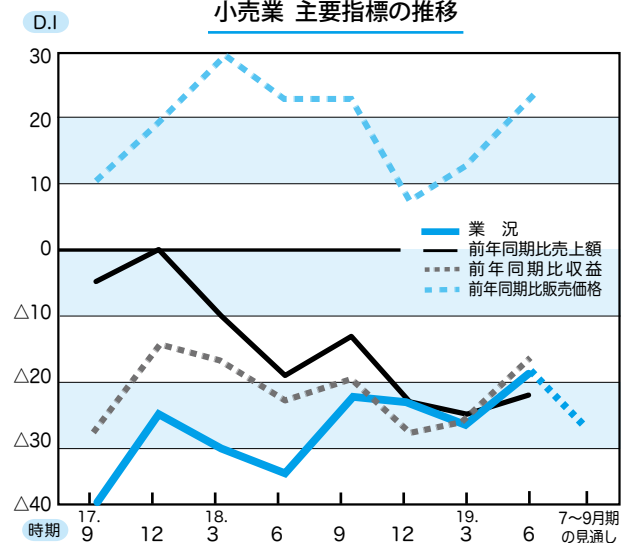
業況の見通し判断D.Iは△26.8、当期実績比7.3ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比19.5ポイント、収益判断D.Iでも9.8ポイントともに改善を見込んでいます。また、販売価格判断D.Iは当期実績比17.1ポイント減少を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iは当期実績比2.5ポイントの低下、残業時間判断D.Iにおいては同4.9ポイント増加の見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が63.4%、「品揃えを改善する」が29.3%、「宣伝・広告の強化」が24.4%と上位に挙げられました。

小売業 主要指標の推移



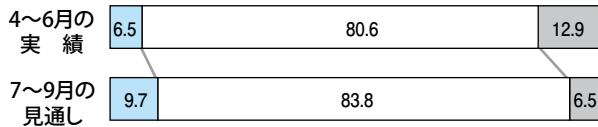
調査員のコメントから

大型店との競合に加え、ネット通販の影響もあり、売上・利益共に減少傾向にある。よって、イベントの実施、脱価格競争に向けた商品選定、人材育成等により、利益率改善に取り組んでいる。

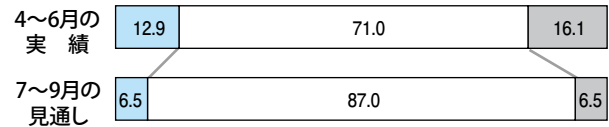
■ サービス業

回答企業数31企業(回答率100%)

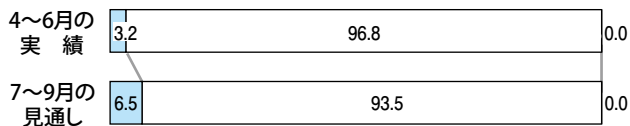
【業況】



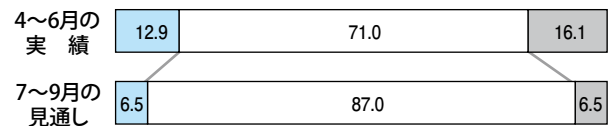
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加(良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

4月～6月期の概況

業況判断D.Iは△6.5、前期比6.5ポイントの低下

項目別では、売上額判断D.Iが△3.2、前期比13.5ポイント、収益判断D.Iでも△3.2と同10.1ポイントともに改善しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは3.2、前期比9.9ポイント、同収益判断D.Iでは6.5、同13.2ポイントともに改善しました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△6.5と前期比6.8ポイント改善し、人手不足感がやや緩和しました。また、前期比残業時間D.Iは3.2と前期比13.2ポイント増加しました。

借入金の動きでは、「借入した」が16.1%(前期16.7%)、「予定あり」が3.2%(前期6.7%)を示しています。また、設備投資を実施したと回答した企業は3.2%(前期3.3%)となりました。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が35.5%、「売上の停滞・減少」が29.0%、「材料価格の上昇」・「料金の値下要請」がそれぞれ12.9%と上位に挙げられました。

7月～9月期の見通し

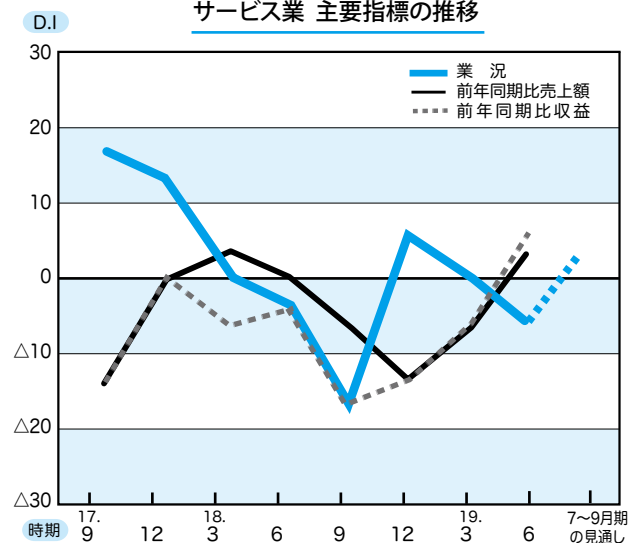
業況の見通し判断D.Iは3.2、当期実績比9.7ポイント改善の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比3.2ポイント、収益判断D.Iでも3.2ポイントともに改善を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比0.0ポイントの横這いを見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比0.0ポイント、残業時間判断D.Iでも0.0ポイントともに横這い見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が51.6%、「販路を広げる」・「宣伝・広告の強化」がそれぞれ25.8%と上位に挙げられました。

サービス業 主要指標の推移



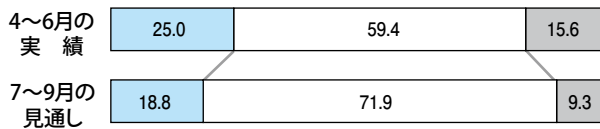
調査員のコメントから

従業員の高齢化が売上に影響している。また、従業員確保が経営上の大きな課題であるため外国人の採用を増やす方向で検討している。

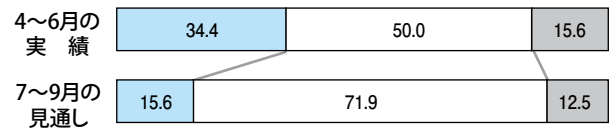
■ 建設業

回答企業数32企業(回答率88.9%)

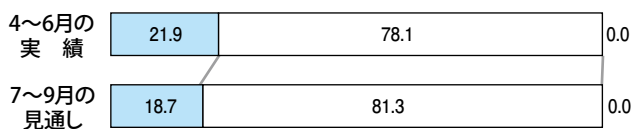
【業況】



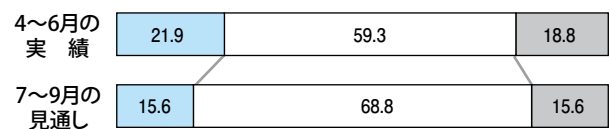
【売上額】



【材料価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い)
 ■ 変わらず(変化無し)
 ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

4月～6月期の概況

業況判断D.Iは9.4、前期比10.0ポイントの低下

項目別では、売上額判断D.Iが18.8と前期比4.9ポイント改善、受注残判断D.Iは3.1と同27.5ポイント低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは6.3、前期比3.5ポイント、同収益判断D.Iは6.3、同9.1ポイントともに改善となりました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△31.3と前期比9.1ポイント低下しました。また、前期比残業時間D.Iは△3.1と前期比5.9ポイント減少しました。

借入金の動きでは、「借入した」が34.4%（前期36.1%）、「予定あり」が21.9%（前期30.6%）を示しています。また、設備投資を実施したと回答した企業は6.3%（前期8.3%）となりました。

経営上の問題点では、「人手不足」が40.6%、「同業者間の競争激化」が37.5%、「利幅の縮小」・「材料価格の上昇」・「下請の確保難」がそれぞれ15.6%と上位に挙げられました。

7月～9月期の見通し

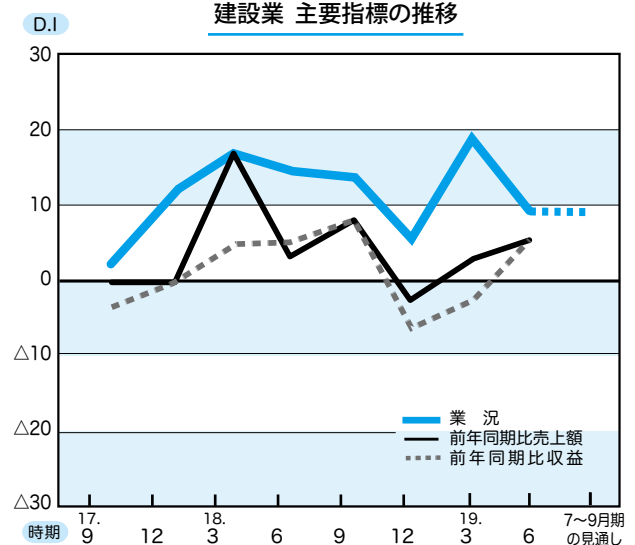
業況の見通し判断D.Iは9.4、当期実績比横這いの見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比15.7ポイント、収益判断D.Iでも同3.1ポイントともに低下を見込んでいます。また、材料価格判断D.Iは当期実績比3.1ポイントの低下を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比3.1ポイントの低下、残業時間判断D.Iは12.5ポイントの増加見通しとなっています。

当面の重点施策では、「経費の節減」が56.3%、「販路を広げる」・「人材を確保する」がそれぞれ34.4%と上位に挙げられました。

建設業 主要指標の推移



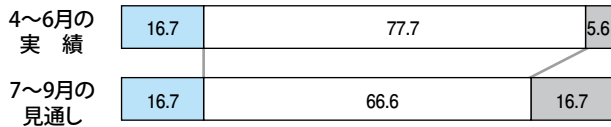
調査員のコメントから

業況は比較的安定。今後、消費税増税前の駆け込み需要が見込まれる。尚、受注に対して人員確保が難しく、働き方改革に取り組みながら従業員確保に繋げていく。

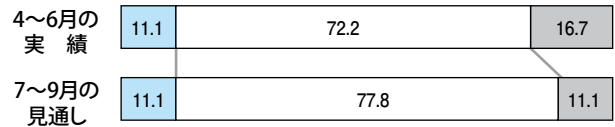
■ 不動産業

回答企業数18企業(回答率100%)

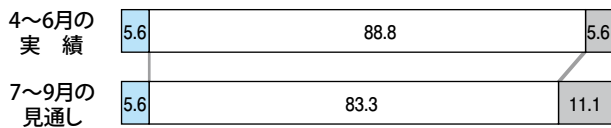
【業況】



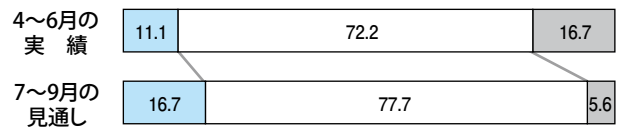
【売上額】



【仕入価格】



【収益】



■ 増加・やや増加 (良い・やや良い) □ 変わらず(変化無し) ■ やや減少・減少(やや悪い・悪い)

4月~6月期の概況

業況判断D.Iは11.1、前期比5.5ポイントの改善

項目別では、売上額判断D.Iが△5.6と前期比5.5ポイント改善、収益判断D.Iは△5.6と同5.6ポイント低下しました。また、前年同期比売上額判断D.Iは5.6、前期比5.5ポイント低下、収益判断D.Iは16.7、同横這いとなりました。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが△11.1と前期比5.6ポイント改善しましたが、まだ人手不足感が残ります。また、前期比残業時間D.Iは△5.6と同11.2ポイント減少しました。

借入金の動きでは、「借入した」が33.3%（前期27.8%）、「予定あり」は22.2%（前期27.8%）を示しています。

経営上の問題点では、「同業者間の競争激化」が33.3%、「利幅の縮小」が27.8%、「売上の停滞・減少」・「大手企業との競争激化」がそれぞれ22.2%と上位に挙げられました。

7月~9月期の見通し

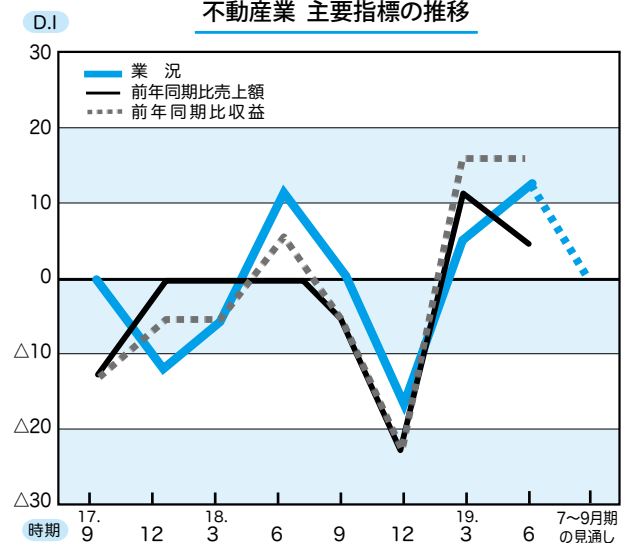
業況の見通し判断D.Iは0.0、当期実績比11.1ポイント低下の見込

項目別では、売上額判断D.Iが当期実績比5.6ポイント、収益判断D.Iでも同16.7ポイントともに改善を見込んでおります。また、販売価格判断D.Iは当期実績比11.1ポイントの改善を見込んでいます。

雇用面の動きでは、人手過不足判断D.Iが当期実績比横這い、また、残業時間D.Iも同横這いの見通しとなっています。

当面の重点施策では、「販路を広げる」が55.6%、「宣伝・広告の強化」が38.9%、「情報力の強化」が33.3%と上位に挙げられました。

不動産業 主要指標の推移



調査員のコメントから

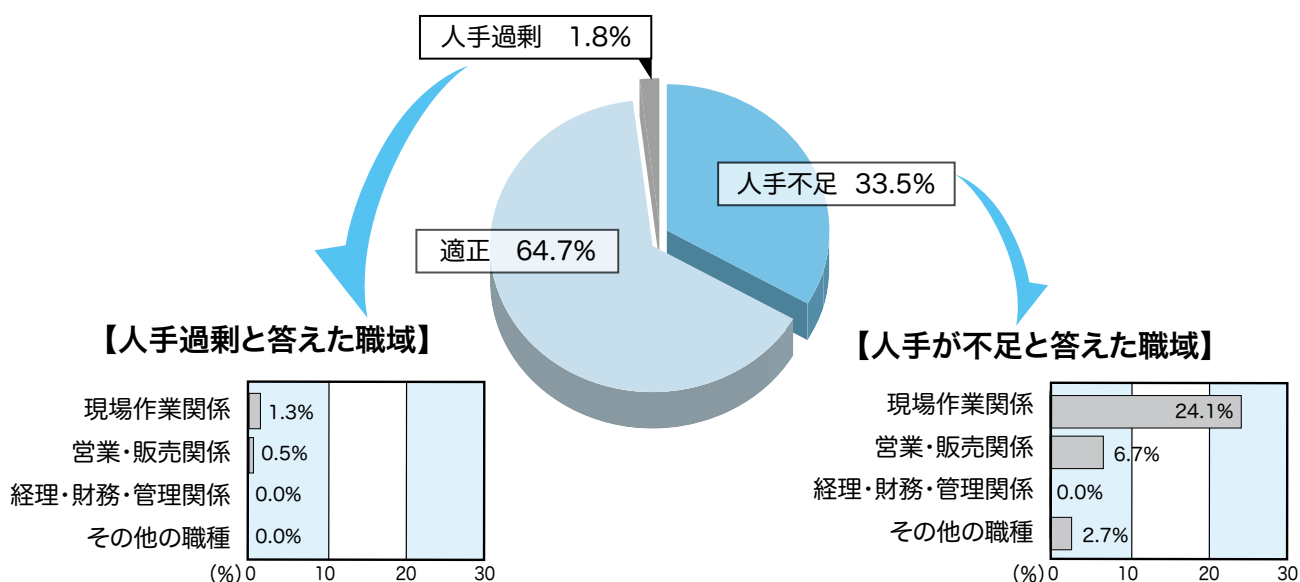
外国人からの物件紹介が増えている。また、後継者不在等により空き物件の管理相談が増えている。

特別
調査中小企業における人手不足の状況と
働き方改革への対応について

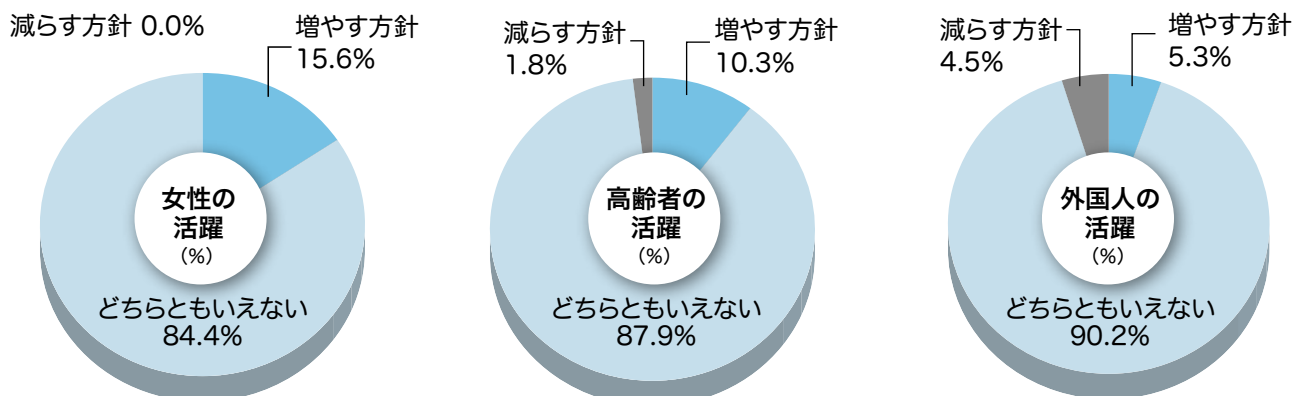
「中小企業における人手不足の状況と働き方改革への対応」について調査を実施しました。

「貴社では、最近顕在化しつつある人手不足の状況をどのように認識していますか」の質問に対し、「適正」との回答が64.7%と最も高く、次いで「人手不足」との回答が33.5%という結果となりました。そのほか、人手不足で採用が困難になりつつあるなか、女性、高齢者、外国人の活躍推進それぞれについての結果を、次のように取り纏めました。

問1 貴社では、最近顕在化しつつある人手不足の状況をどのように認識していますか。(単位:%)

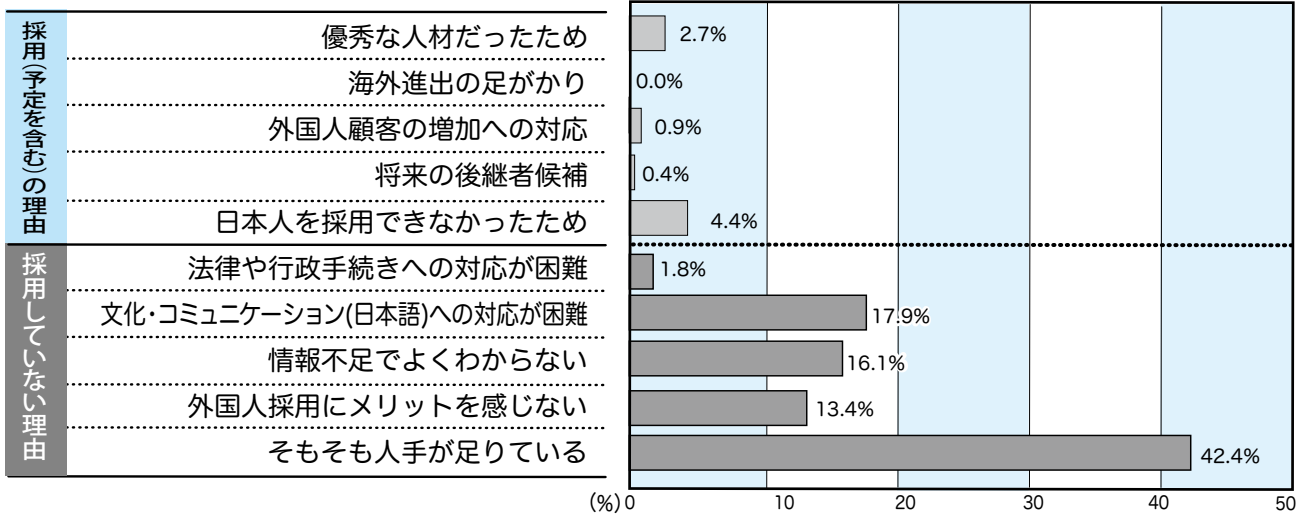


問2 貴社では、人手不足で採用が困難になりつつあるなか、女性、高齢者、外国人の活躍推進それぞれについて、今後、どのようにお考えですか。(単位:%)



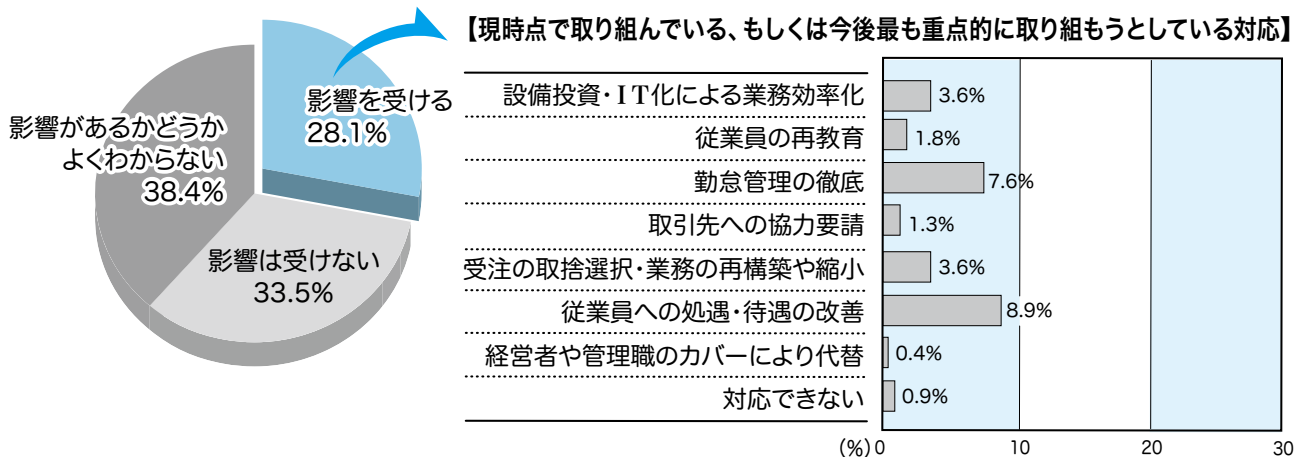
問3

2019年4月より施行された改正出入国管理法を受けて、外国人労働者の受入れ拡大が見込まれています。こうしたなか、貴社では外国人労働者を採用(予定を含む。)していますか。採用している場合は、採用の理由について、採用しておらず、予定もない場合は、その理由を1つ選択してください。



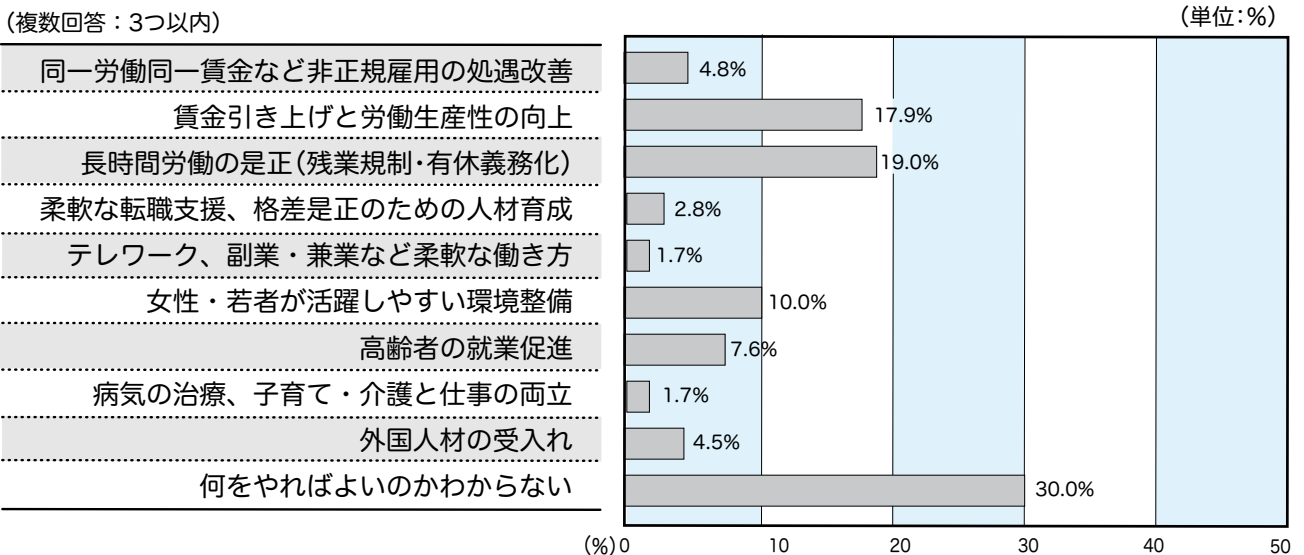
問4

貴社では、働き方改革が求めている「時間外労働の上限規制」や「有給休暇取得の義務化」による影響を受けますか。影響を受ける方は、それに対して現時点で取り組んでいる、もしくは今後最も重点的に取り組もうとしている対応をお答えください。



問5

働き方改革に何らかの対応をしていかなければならないなか、現在既に取り組んでいる事項あるいは今後優先的に取り組みたい事項は何ですか。



地域活性化融資

「上昇機運」

短期間の資金もご利用できます。

売上増加

経営安定

収益向上

宣言!

ユーシンは、中小企業の皆さんを応援し、地域の活性化をサポートします。

ご融資：
金額：最高 5,000 万円

ご融資：
期間：10 年以内

お取扱期間 2019年4月1日(月)～2020年3月31日(火)

※審査の結果、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承下さい。

詳しくはお近くの結城信用金庫までお気軽にお問い合わせ下さい。

— 後 記 —

ユーシン景気動向調査に、ご理解とご協力を頂きまして、厚くお礼申し上げます。皆さまのご意見、ご希望をどしどしお寄せください。

結城信用金庫営業統括部

〒307-8601 結城市大字結城557番地
TEL (0296)32-2110 FAX (0296)33-0414
Eメール yukisb@intio.or.jp <http://www.shinkin.co.jp/yuki/>